

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県西脇市 西脇病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	ド透I未訓ガ	救臨がへ災地輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
40,412	23,674	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

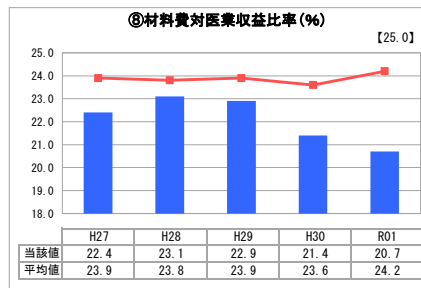
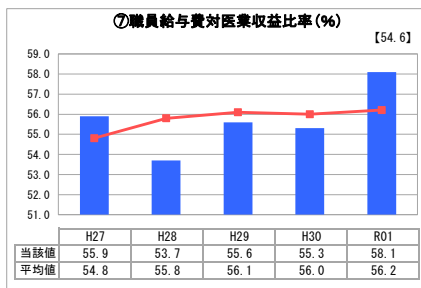
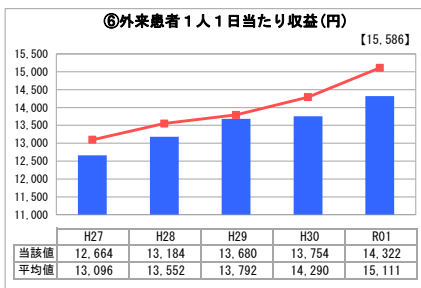
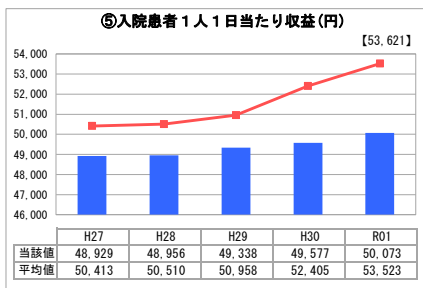
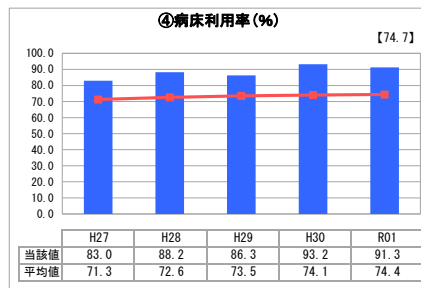
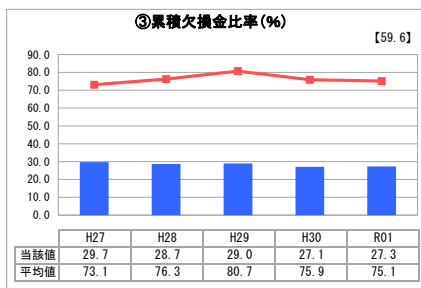
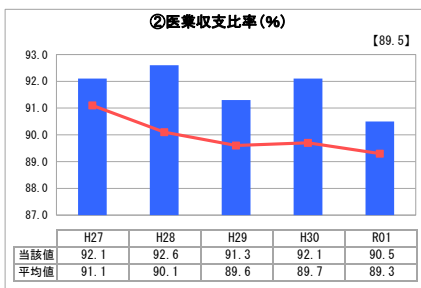
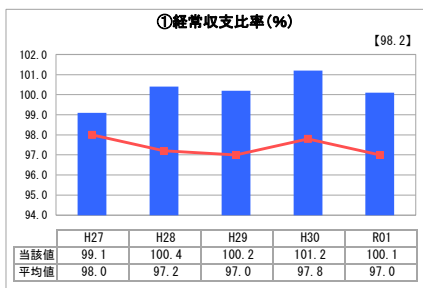
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
320	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	320
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
320	-	320

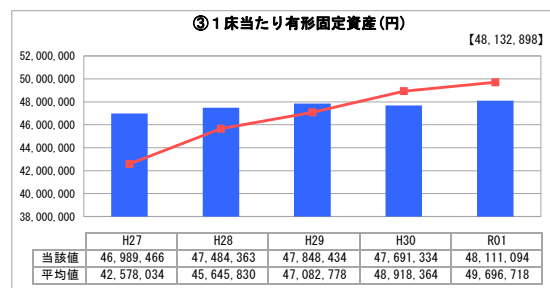
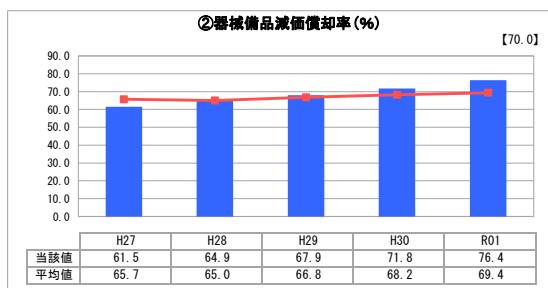
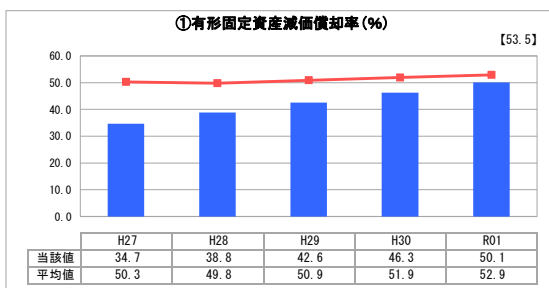
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

兵庫県保健医療計画が示す5疾病5事業及び在宅医療のうち4疾病（がん、脳卒中、糖尿病、精神疾患のうち認知症）と3事業（救急医療、災害医療、へき地医療）について指定を受け、北播磨医療圏における専門医療の提供や診療拠点の機能を担っています。

また、地域医療支援病院として、在宅医療の推進強化を担っています。

新型コロナウイルス感染症への対応では、西脇市多可郡医師会の御協力を得て、「発熱トリアージ外来」を開設し、診療を開始しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

患者数の減少等に伴い、医業収支比率も減少しています。しかし、患者1人1日当たりの収益については増加傾向です。

また、一般会計からの繰入金を加味した経常収支比率は100%前後で推移しています。

病床利用率は、91.3%となり、前年度よりも1.9ポイント下回りました。

今後におきましても、充実した医療の提供及び費用の抑制に努め、地域のニーズに応えるべく医療体制の充実を図り、地域完結型の医療を目指していきます。

2. 老朽化の状況について

平成21年3月に新病院が完成し、グランドオープンから約10年が経過しています。

有形固定資産減価償却率は、類似病院平均より低いです。器械備品減価償却率は平均を超えており、医療機器等の更新の需要が高まっています。

今後、医療情勢に留意しながら、計画的に医療機器等を更新していきます。

全体総括

北播磨医療圏における北部の拠点病院としての役割が求められています。その役割を果たすため、人材を確保し、適切な機器整備を行い、経営基盤の確立を目指します。

また、地域包括ケアシステムを構築し、医療と介護の連携を進め、DPC医療制度により、効率的で効果的な医療サービスの提供を行います。新規入院患者数の増加を図るとともに、効率的に病床管理を行い、収益の確保に努めます。

今後も、新型コロナウイルス感染症への対応も継続して取り組み、医療介護福祉制度改革などの動向に留意しながら、健全な経営を目指します。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。